

# 観光立国 変化への挑戦

## 新年特別鼎談

07年の観光業界の大きなトピックスは、観光立国推進基本法の施行及び基本計画の策定、そして「観光庁」創設の動きだ。今年、「観光立国」の実現に確かな1歩を踏み出す年になると言えるだろう。本保芳明・国土交通省総合観光政策審議官、中村徹・日本観光協会会長、間宮忠敏・国際観光振興機構(JNTO)理事長の3氏にお集まりいただき、観光業界の現状や課題などについて話し合っていた。司会は本紙編集長内井高弘。(東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで)

# 観光立国実現へ確かな歩みを

07年の国内観光を振り返って、特に印象に残っていることは、  
「観光庁」の要求もできるような情勢になった。また、自治体も観光に対する顕著な動きが出てきた。本保 07年1月の「観光立国推進基本法」の施行だ。それに続く6月の観光立国推進基本計画策定という流れは、観光に対する理解が深まり、観光の産業としての基盤、基礎がしっかりと固まってきた。  
総審議官が観光部で課長を任じたことと比べれば、観光立国元年だった。

10年前とは全く違う。国だけじゃなく産業界、自治体を含めて、観光の大きなうねりがあるという実感だ。訪日外客も800万人を超えた。この数字は宿泊業界にとっても大きな意味を持つ。外客がポリニュームの経済的にも、国、地域、産業界にとっても無視できない数字になってきた。  
観光行政トップとしての責任の重さを感じます。本保 歴代で初めて数値目標を抱えたという立場としては、重いプレッシャーがある。基本計画に5つの目標を掲げたのは初めてで、これを達成するのは本当に大変(笑い)。数値目標は、業界全体でみると大変意味がある数字。外客が1千万人になれば、宿泊業界、地域にどういったインパクトがあるのか、海外に2千万人を送り出せば、旅行業界にどういった意味があるのかという点だ。関係者の期待も大きい。「コミットメントは必ず達成する」とい

どの国も観光を重視し、観光の奪い合いをやっている。日本もその中で勝たなければならぬという大きな命題がある。基本計画の中でJNTOはそのインパクトの中核、政府観光局という位置付けをいただいた。08年はVJC実施本部事務局とも統合し、新たな一歩を踏み出す年となる。そうした中で、産業界としての観光推進はどういう態勢でいくのか、基本計画に沿ったモデルづくりが必要ではないか。これまでの日本のモノづくりは官主導だったが、観光はどんなモデルでいくのか。基本計画で政府観光局と位置付けられたJNTOのあり方を、諸外国の例も参考に、観光推進態勢のモデルを作る必要がある。



国土交通省総合観光政策審議官 本保芳明氏



日本観光協会会長 中村徹氏



国際観光振興機構理事長 間宮忠敏氏

### 盛り上がる機運、そのシンボルが観光庁

本保氏

観光は民間が主。ただ、できたとしてもプレヤーであって、行政はサポート役に過ぎない。観光は民間が中心になってやるのが、国の政策に合致する。観光は民間主体も国のサポートが必要。中村氏

### 観光は民間主体も国のサポートが必要

中村氏

行政は出すぎちゃいけないし、むしろ出ないほうがいいと思う。護送船団方式はあってはならないし、あり得ない。そんなことで民間の活力を削いでほらない。そうは言っても、観光そのものは非常にすそ野が広く、全体をコーディネートしていかなくてはならない。観光庁を窓口として、かつ調整役として、上手く機能させることが観光産業全体が円滑に発展していくことになる。観光庁は本場にできるか? 本保 担当者としてはできると思う。その前提で動いている。いま国、地域を挙げて観光に力を入れてやっていくという機運になっている。そのシンボルとして観光庁がある。地方は何をやるべきかという大きい。もう一つ、国と地方の関係を考えて、国は何を、地方は何をやるべきかという大きい。もう一つ、国と地方の関係を考えて、国は何を、地方は何をやるべきかという大きい。

観光庁とJNTOとの仕事の役割分担を国民にも分かるように明確にする必要がある。そうしないと「JNTOはいらないじゃないか」という外れの議論も出てきかねない。観光庁ができてから60億ほど。それだけの力でできるかという指摘もある。本保 金も人もできるだけかけずに効率的にやるのが基本原則。増やせばいいなんていう発想は私には全くない(笑い)。ただ必要なお金は確保しなくてはならない。初めての試みだが、省庁合わせて観光に係る予算要求を集計して2150億円という額を出した。国際会議の誘致で新しい予算要求もした。観光庁でなくてはできないものはきちんと確保していく。中村 先日、ポランティアの全国大会があり、1千人集まったが、全

### VJC事務局と統合 新たな一歩踏み出す年

間宮氏

4面に続く

観光立国 変化への挑戦

3面から続く

観光立国実現へ 確かな歩みを



——JNTOとVJC事務局の統合の意図は。本保 自身は大変小さな変革だと思っている。VJCの推進で買かれてい

本来のVJCのあり方ではないか。その中で、JNTOは国の施策を遂行するた

んでいくという数字を出すつもりはない。中村 台湾は成熟した市場になっ

が最先端の商品を中国で売るかのごとく、3つのマーケットには最先端のものを

がこれから重要になる。また、事件や事故があったら観光客が減るとい

くはずがないので、場合によっては資格試験のラインを下げて

いい。歴史・地理はパスしていないが、言葉は堪能という人はA

分があるのではないかと。泊食分離とか、オーダー制とか、もっと多

本保 今、JNTO各事務所に数字の積み上げをお願いしている。自分のマーケットからど

しかし、広い大きな部屋に1人ずつというのには無理ですね。中村 旅館もテレビで

アクセスであるバスのほうに寄せていくとすればいい。これは直さなければい

大型旅館をどんどん建ててしまつて、債務の処理ができない中にパ

本保 熱海もよく名前が出る。地域全体が駄目になつて今度これを回復

大型旅館をどんどん建ててしまつて、債務の処理ができない中にパ

本保 熱海もよく名前が出る。地域全体が駄目になつて今度これを回復

国内観光の活性化についてだが、気をつけなくてはならないのが、と

国内観光の活性化についてだが、気をつけなくてはならないのが、と

国内観光の活性化についてだが、気をつけなくてはならないのが、と

国内観光の活性化についてだが、気をつけなくてはならないのが、と

国内観光の活性化についてだが、気をつけなくてはならないのが、と

国内観光の活性化についてだが、気をつけなくてはならないのが、と

競争環境の適正化を 地域代表の意識持て 宿泊に個人主義導入

本保氏 中村氏 間宮氏

本保氏 今、JNTO各事務所に数字の積み上げをお願いしている。自分のマーケットからど

本保氏 今、JNTO各事務所に数字の積み上げをお願いしている。自分のマーケットからど